

# ほほえみ

人らしく応援紙

第 106 号

2017 年 4 月 30 日



社会福祉法人優輝福祉会

〒729-3713

広島県庄原市総領町中領家 476 番地



## 『地域社会活動がニッポンを救う』

### ◆トピックス

『幸福感の高いまちづくり』セミナー

…2

### ◆各事業所での地域・社会貢献

- |                          |                            |     |
|--------------------------|----------------------------|-----|
| 一地域社会活動一 まちづくりの役割を担う福祉施設 | 高齢者福祉総合センター ユーシャイン         | …4  |
| 総領町でのリハビリを考える会より         | 優輝福祉会リハビリチーム               | …5  |
| 「里山」の施設としての取り組み          | 障害者支援施設 ともしきの里             | …6  |
| 社会貢献をとおして築くもの            | 小規模多機能型居宅介護事業所 横山旅館        | …6  |
| 事業紹介                     | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 ゆうしゃいん | …6  |
| 地域での「困った」に挑戦             | 障害者多機能型事業所 里山福業            | …7  |
| 笑顔で地域貢献                  | 小規模多機能型居宅介護事業所 ゆうしゃいん三次    | …8  |
| 健康行事での立ち寄り場所から地域づくり      | みら屋・三良坂                    | …9  |
| 地域密着事業所としての行事参加          | 小規模多機能型居宅介護事業所 ゆうしゃいん塩町    | …9  |
| ボラバイト大募集について             | 優輝福祉会ボランティアチーム             | …10 |

## セミナー『幸福感の高いまちづくりをめざす』

平成29年1月10日（火）  
庄原グランドホテル

活動報告とパネルディスカッションが2部に分けて行われた。

第1部は『総領のいま』というテーマで、総領町の歴史に触れた上で、現在総領の各主体がどのように協働しているのかを総領地域ケア会議のメンバーがパネリストとなって報告した。

地域ケア会議は自治振興区や特別養護老人ホームの生活相談員等がメンバーとして参加し、週1回のランチミーティングの形式で、課題について話し合う。報告では猫好きの一人暮らしの認知症の方のケースを通して、個別への対応から地域課題の解決へ至るまでの過程が紹介され、連携体制ができたことで別のケースでもスムーズに対応できたということ話をした。



庄原市役所総領支所保健師の横山美栄子さんは、「ないものは受け入れる、あるものは生かす」という意識、目指す地域の姿を共有し、その実現へ前向きに考えることの大切さを述べた。

庄原市社会福祉協議会南部地域事務所の咽原康平所長は、ケア会議は関係機関同士の顔が見え信頼できる関係をつくることから始まり、「とりあえずやってみよう」という姿勢からランチミーティングも始まった。継続していくためには所属する主体の代表者の理解と現場の努力が必要。メンバーが変わっても継続できる体制が必要と話した。

生活相談員の牧原拓矢さんは、地域住民と考えること、施設職員がコミュニティワーカーになること、施設のいらぬ町を目指すこと、地域密着型のサービスを提供していくことが大事だと気付いたと話した。

介護支援専門員の吉高洋恵さんは、関係づくりができたことで、制度の枠や職域を超えて協力できている。毎週の会議で、ケアの進捗状況や課題もどんどん見えてくるので解決が早く、ケアの継続もできていると話した。



庄原特別支援学校・神楽愛好会の演舞  
(1部と2部の間で公演)

第2部では『まちの未来図を描く』というテーマで、課題解決の場としての地域ケア会議を超えた未来のまちづくりへの取組について各パネリストが報告した。

庄原市総領自治振興区の矢吹正直事務局長より自治振興区について説明、続いて県立広島大学保健福祉学部看護学科講師の岡田麻里さんより総領地域の高齢者の実態調査について報告があった。この調査で見えてきた課題を踏まえて、自治振興区では政策の立案や実施をしている。

矢吹事務局長は地域ケア会議の中に自治振興区が入る利点として、自治振興区は自由度が高く、どの組織に対しても遠慮なく提案できることを挙げ、その上で、自治振興区とケア会議をよりきめ細かくつなげ、統合を進めることを考えている。そして、役場や農協といった各事業所の機能が縮小する中で、役割がより重要になる福祉事業所に頑張ってもらいたいと話した。

優輝福祉会の熊原保理事長は、「人・物・金・情報それぞれの地域資源で社会福祉法人ができること」について紹介した。その上で、老人ホームの機能が地域に点在し、多様な人たちが多様な機能を使える地域づくり、市民みんなが民生委員になるような教育、「福祉」から卒業した生活支援といった目標を挙げた。そして、介護報酬や障害支援費の出し方を見直して市民にも出すようなシステムができれば、地域の経済力として農協や農家、商売をしている方々も福祉の担い手になるのではないかと述べた。

セミナーの最後に、東京大学高齢社会総合研究機構の秋山弘子特任教授が総括を述べた。

「どこの町でもできる素晴らしいモデル」と総領地域ケア会議を称賛した上で、被災地の復興推進委員の経験から、合意形成と助け合いのネットワークを平時から作ることの重要性を訴えた。

一方で、人口減少を踏まえ、10年、20年後に総領がどういう町であるべきかを真剣に考える時期が来ており、若い人たちが帰ってきたい町にすることが望ましい。そのためにはどんな資源があり、使えるかということ、例えば生活体験のような上級観光コースをつくるというようなことを真剣に考えた方が良く述べた。また、シニアや障害者の活躍の場があり、男性も女性も高齢者も障害者も自分のできる分だけ支えていくという社会をつくるのが夢であり、コミュニティの非常に大きな資源である社会福祉法人が夢の社会の実現のために果たす役割は大きいと話した。

最後に、社会福祉法人が地域に出て他のセクターと手を取るという素晴らしいモデルが総領にはある。人が90年、100年生きる社会のモデルを世界に発信していくことができればと思っていると締めくくった。(平野)



パネリストと北本弘子コーディネーター  
(昭和女子大学人間社会学部教授)



セミナーの総括をする秋山特任教授

## コミュニティワーク —地域社会活動— まちづくりの役割を担う福祉施設

高齢者福祉総合センター ユーシャイン

ユーシャインでは、地域ケア会議（ランチミーティング：週1回開催）への参加を積極的に行い、総領支所・診療所・自治振興区・社会福祉協議会と連携し、ユーシャインを利用している方を含め、地域での「困った」の解決を目指している。



総領地域ケア会議ランチミーティング

地域の「困った」から地域での「ニーズ」を抽出、働きかけていく。

### ①デイサービス・特別養護老人ホーム（特養）で個別機能訓練。理学療法士の介入

在宅生活の継続が地域の利用者にとっての最大の目標である。ユーシャインデイサービス・特養では理学療法士の指導のもと個々の身体機能に応じた訓練を実施し、利用者の自己決定と自己実現達成のサポートを実践している。



機能訓練の一風景

### ②訪問看護事業所がないまちで在宅看取りを実施

在宅看取りをする上で大切なことは、本人・家族の「安心」だと考える。ないことで不安になることがあるが、ないことで発揮できる柔軟対応がある。ユーシャインが近くにある安心感、地域住民がつながっている安心感で看取り介護を実践していく。

### ③認知症になっても地域で暮らし続けたい

地域住民と地域の事業所が認知症の利用者を支えている。徘徊への興味ではなく散歩への興味を引き立たせる。受け手になっている認知症高齢者を担い手にしていくまちづくりへ認知症を包み込むまちづくりは価値観の共有で実践していきたい。（牧原）

## 総領町でのリハビリを考える会より

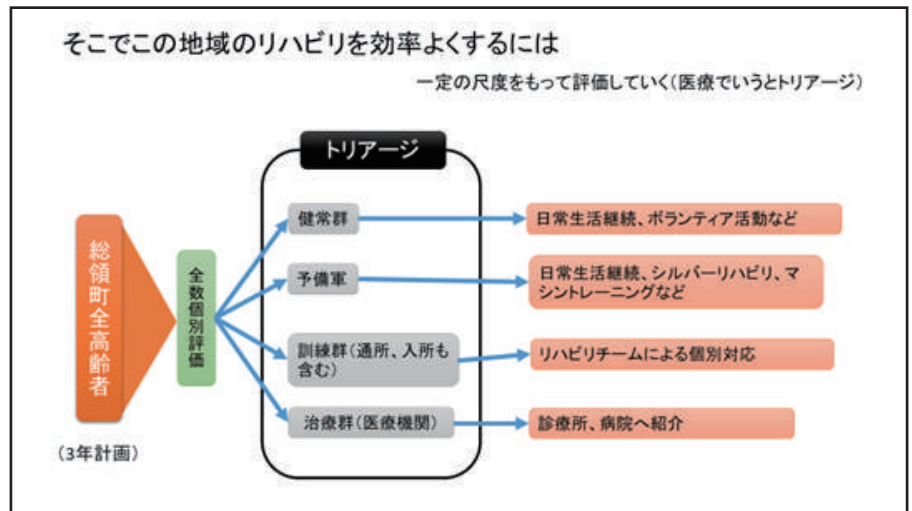
～法人全体のリハビリを考える～

優輝福祉会リハビリチーム

リハビリ職・設備・地域性などリハビリ資源に乏しい中山間部（総領町）診療所に赴任してきた畑野悠 Dr. 率いる地域ケア会議のメンバーの声掛けで平成 27 年 12 月 9 日に「第 1 回総領リハビリを考える会」が開催された。

その会では、近隣療法士に参加を促し訪問リハを住民に取り入れたいということや、療法士から訪問看護師へリハビリ方法の指導、実施で課題の解決策を考えるというものであった。

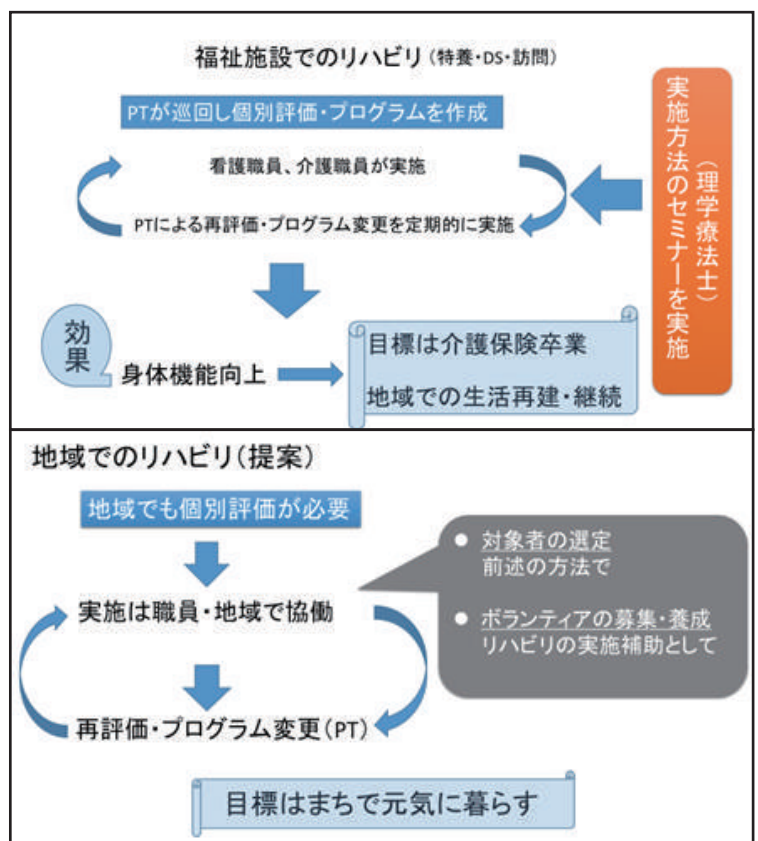
第 2 回は平成 29 年 2 月 22 日に開催され、優輝福祉会が一人の理学療法士（PT）を採用したことで総領地域でのリハビリが大きく好転していったという内容で、今後の方向性と事例報告を行った。



総領地域のリハビリ方法提案

さて、福祉施設でのリハビリ（機能訓練）とは右図のようなシステムが非常に重要であり、庄原地域のデイサービス（2 事業所）、特養（総領）で確立しつつある。1 例として自立動作の可能性はほぼ無いとされていた要介護者へ導入し、現在、歩行練習まで出来るように回復した事例である。介助量の減少に伴い、入所から一時帰宅、在宅復帰の話が施設職員の間でも出ているようである。

目標は当法人庄原地区で確立しつつあるこのリハビリを三次地区も含め、全事業所で充実させることであり、その後の地域社会活動へリハビリから繋げていきたい。地域・社会貢献として。(理学療法士・若井)



施設・地域でのリハビリの流れ

### 「里山」の施設としての取り組み

障害者支援施設 ともいきの里



障害者支援施設ともいきの里では、昨年9月に浴室の全面的見直しを図り、障がい形態に合わせた新規の機械浴槽の導入に合わせて浴室の改修を行った。現在、利用者の皆様には安全かつ快適に入浴して頂けるよう取り組んでいる。その一方で、給湯設備として新たに「薪ボイラー」も導入している。これについては、ともいきの里周辺の「里山」の

豊かな資源である材木（間伐材）を有効活用することと、地域で暮らす障がい者の「就労の場」の提供を図ることを目的としている。

これからも「里山」の施設として、地域の特性を強みにして歩んでいきたいと思う。（田邊）



機械浴槽

### 社会貢献をとおして築くもの

横山旅館

横山旅館では、利用者のなじみの店・人たちの繋がりや交流を大切にし、九日市などの外出行事で、利用者と共に地域へ出向き、顔なじみの関係が継続出来るよう支援している。

また、清掃活動を通して地域の方へ顔を覚えてもらうことで、横山旅館が、地域に開かれた拠点となり、地域の皆様にとって身近で相談しやすい場所となるよう目指している。（竹崎）

### 事業紹介

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 ゆうしゃいん

初めまして。定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所ゆうしゃいんから地域の皆様に発信しています。子どもをはじめ、高齢者、病気や障害を持った人が、住み慣れた地域やご家庭で、その人らしく日常生活が送れるように願いサービスを提供。

我が事業所の紹介により、広く皆様にこの事業を知っていただくことで地域・社会貢献につながることを願います。

1日24時間、1年365日のご利用が可能。困りごとがあってもなくても遠慮なく、お電話ください。

お待ちしております。（矢吹）

## 地域での「困った」に挑戦

障害者多機能型事業所 里山福業

平成 28 年 6 月から、就労支援 A・B 型を併せ持った「障害者多機能事業所 里山福業」がスタートし、農業や林業補助、清掃含む施設美化等を行っている。色々な作業に携わることで、数年前からの夢であった「障害を持った方に最低賃金を約束する雇用契約」がついに実現。同時に、高齢化の進む中山間地域の里山保全や維持にも貢献し、地域の暮らしで起こる色々な「困った」に挑戦している。

地域の人々や企業と共に、地域に暮らす障害者の雇用の創出が出来ればと考えている。

また、昨年 9 月からは、化石燃料代価エネルギー作り「薪でボイラー」もスタート。社員さんが里山の薪で施設のお風呂のお湯を沸かしている。

今年、新拠点へ移ることが決まり工事も始まっており、地域の方と協力し木材の可能性を教えてもらったり、社員さんと職員とで周辺に桜を植樹するなど、整備を進めている。出来ることがどんどん増えていく社員さん（と職員）にご期待ください！！（藤川）



## 里山福業 移転 『コアハウス』



## 笑顔で地域貢献

ゆうしゃいん三次

ゆうしゃいん三次では優輝福社会の経営理念である「子どもからお年寄りまで、障害の有無に関わらず、全ての人が自在に利用できる小規模・多機能・柔軟対応」を目指す福祉拠点。また目標である地域で普通に暮らし、一人ひとりの笑顔から社会の発展に寄与できるよう努めている。活動として、地域清掃活動・地域行事への参加を重点的に行っている。

### ●ゴミ拾い

平成24年度より毎月1日、ゆうしゃいん三次周辺・ラウンジ笑花周辺の2ヶ所を重点的にごみ拾いしている。従業員は揃いの赤いウインドブレーカーを着用して、元気に活動スタート。道の両沿いにある植え込みの隠れて見えないゴミまで確認しながら拾っている。紙クズやタバコの吸い殻などの細かなゴミも見逃さず、ていねいに拾っていった結果、毎回ゴミ袋3袋ぶんのゴミが集まる。



### ●溝掃除

ゆうしゃいん三次は周囲を溝が廻っている。田植え前には少しでも綺麗な水でお米を作ってもらおうと自主的に掃除を行うようにしている。スコップやデッキブラシ、高圧洗浄機を使いピカピカにしている。半年間たまったヘドロは毎回大量に発生しており、短い距離だが土嚢10袋分も発生していた。



### ●お祭り

地域で行われるお祭りに職員社員ともに積極的に参加し、地域の一員として街の活性化・市民との交流を図る。また、ゆうしゃいん三次にて「夏祭り」と題しお祭りを開催し、地域の方々も参加され、盛大に行った。



### ●とんど

毎年1月、とんどの時期になると職員が地域の方とともに竹を切り出す所から参加し、竹を組み、火をつけるまで一部始終参加している。地域では高齢化が進んでおり、若い職員が参加すると「若い力は助かる」と喜んでいる。(増原)





## 健康行事での立ち寄り場所から地域づくり

みら屋・三良坂

運営推進会議で、三良坂支所の保健師さんより支所が開催する「みらさか健康ウォーキング～秋の三良坂を歩いて健康づくり」の立ち寄り場所に、みら屋・三良坂を入れてはどうかと話があり、計画。参加者へ茶室も休憩場所として開放し、事業所の利用者とお茶を飲みながら交流。町内の方に、事業所を知ってもらうよい機会でもあった。今後もこのような機会が持てるよう継続していければと思う。(渡邊)



## 地域密着事業所としての行事参加

ゆうしゃいん塩町



毎年、10月第3日曜日は恵比須神社の秋祭り。昨年は10月16日。土曜日の朝7時には地域の方々と神社に集まり、のぼりを建て、掃除をし、声を掛け合いながら支度をしている。

ゆうしゃいん塩町も地域の事業所として毎年参加。当日は若連中の御神輿もあり、より一層賑やかに感じる。利用者の皆様も事業所玄関前に椅子を置き座って待ち、今か今かととても楽しみに待っている。

「ドンドン」「わっしょい、わっしょい」の声で瞬く間に賑やかに。御神酒をいただく人、獅子に頭を噛んでもらう人、小さな子どもさんに目を細めてにこやかに笑っている人、それぞれに楽しんでいる様子。

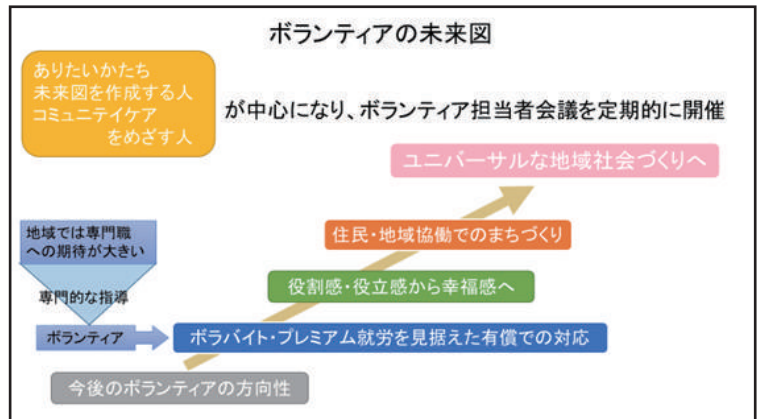
地域の行事、とんど、秋祭りの手伝い、缶拾い、掃除などに参加。これからも地域にとけ込んだ「ゆうしゃいん塩町」となるように努めていきたいと思う。(中村)



## 優輝福社会ボラバイト大募集

優輝福社会ボランティアチーム

平成 28 年度三次市委託事業高齢者トレーニング教室において、地域のボランティア資源を活用しての運営を行った。その延長で事業所でも活躍するボランティアを獲得していこうという方向性が出てきた。そこで、法人ボランティアコーディネーターを設置し、各事業所から受け入れ担当者を募集し、優輝福社会ボランティアチームを発足した。年に数回の担当者会議を開催し、運営方法を模索している段階ではあるが、実績として事業所での手伝い業務、演芸の披露、行事参加など 10 数名の方が平成 28 年度中に活動を行った。今後は、各事業所で定期的に活動できるボランティアをボラバイト・プレミアムチャレンジャーとして受け入れていく準備を進めていく次第である。ボラバイト・プレミアムチャレンジャーとは、高齢者・障害者など働きづらい方々を意味し、短時間からの活動者にあった内容で活動者の状態に合わせた活動を提供していく。



# ボラバイト大募集

※ボラバイト：ボランティアとバイトを組み合わせた造語です。

## プレミアムチャレンジャー!?

ゆうしゃいんは青年（一般の方も）・高齢者や障害者手帳の有無に関わらず様々な理由で働きづらい状態にある方を迎え入れ、ともに働くこと（協働）を目指しています。社会福祉法人の地域貢献として考えました。

現在の雇用形態では馴染みづらい方でも、例えば短時間、そして週一回のボラバイトなど、個性や事情に合わせた多様な働き方を作り出しています。様々な職種がありますので、是非福祉の世界で働いてみませんか。

- |       |         |         |       |       |
|-------|---------|---------|-------|-------|
| 配食    | 介助      | 運動・リハビリ | 買物    | 運転手   |
| おしゃべり | つくる・教える | 掃除・洗濯   | 料理    | 農業・園芸 |
| 保育手伝い | 歌・踊り・演奏 | 事務作業    | 散歩・付添 | 行事参加  |

- ・経験・年齢不問！学生も大歓迎！登録制です！
- ・ボラバイト講習会を随時開催！（地域活動をエンジョイするためのヒントやスキル、心構えが学べます）
- ・やってみたいことも大募集中！あなたのアイデアを実現させましょう！
- ・ボラバイトに参加すると、様々な報酬があります！
- ・日にち、時間帯、地域の希望もお受けします！
- ・詳しい内容を知りたい方、興味のある方は是非お問合せください。

得意な事を、楽しく無理なくはじめませんか？  
自分自身の介護予防のために、自ら気づき学ぶために…  
きっとあなたに合ったボラバイトがあります！

**初めての方も大歓迎!**



お問い合わせ先  
お申込み

三次地区  
(ケアハウス吉舎)

TEL.0824-43-3110

庄原地区  
(ゆうしゃいん庄原)

TEL.0824-75-0310

# 優輝福祉会の事業所



庭園離れ家  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**藤原別荘**



デイサービスセンター  
訪問介護看護事業所  
**ケアハウス吉舎**



グループホーム  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**みら屋・三良坂**



えがおする会  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**ゆうしゃいん塩町**



デイサービスセンター  
レストラン・パン  
**コージーガーデン**



こどもの家  
小規模保育園  
**のこのこのっこ**



里山体験ハウス  
グループホーム  
**コテージ**



障害者就労支援・ケアホーム  
なんでも相談支援事業所  
**ゆうしゃいん笑花**



障害者多機能型事業所  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**ゆうしゃいん三次**



ケアホーム  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**横山旅館**



まるごと相談所  
地域食堂コミュニティカフェ  
**三軒茶屋**



福祉の店 里山福業  
協働作業所シェア  
**コアハウス**



特別養護老人ホーム  
地域共生型福祉施設  
**ゆうしゃいん庄原**



パブリックハウス  
里山SWEETS幸房  
**モリモプディング**



ユニバーサルケア  
ほほえみキッズ園  
**みとう温泉**



平和の石庭  
回顧回想療法  
**レミニセンス夢亭**



天然のアルカリイオン水  
障害者共同作業所  
**みず 幸場**



日本初  
共生型福祉住宅  
**トータルケアホームゆう愛**



高齢者福祉総合センター  
配食サービスセンター  
**ユーシャイン**



障害者相談支援事業所  
障害者支援施設  
**ともいきの里**



優輝福社会  
WELLBEING FACILITIES YUUKI FUKUSHI KAI



発行所：社会福祉法人 優輝福社会  
〒729-3713 広島県庄原市総領町中領家 476

**tel. 0824-88-3000**

mail. [youshine@yuukifukushikai.com](mailto:youshine@yuukifukushikai.com)

<http://www.yuukifukushikai.com>

「ほほえみパーク」は、障害者多機能事業所  
みとう温泉の「優輝デザイン」において、  
障害を持った社員とともに制作した、優輝福社会の広報誌です。